
言語センター

Center for Language Studies

言語センター 開講ゼミナール一覧

小林 敏彦 120

佐々木 香織..... 121

サーマン・ジョン 124

高橋 優季 125

西口 純代 126

羽村 貴史 127

マーク・ホルスト 128

三ツ木 真実..... 129

小林敏彦（大学院商学科アントレプレナーシップ専攻 教授）

1. 研究主題

異文化コミュニケーションとビジネス英語（海外留学準備ゼミ）

2. 指導要領

本ゼミは本学提携の海外大学に留学する学生を対象とした留学準備及び帰国後の英語力の維持と上達を保证するゼミです。本学にYOUCプログラムを通して留学している交換留学生と共に、さまざまな異文化コミュニケーションとビジネスに関連したタスク、プレゼンテーション、ディスカッション、筋トレを通じて、強靱な精神力と体力および実用的英語力を有したグローバルパーソンを妥協なき厳しい持続的メゾットを用いて確実に養成します。

3. 指導テキスト及び参考書

適時指示

4. 選考の方法（面接・テスト等）

筆記試験、英語面接試験、体力テスト。結果は即日連絡。

5. 面接・テスト等の日時・場所

適時メールにて指示。メール本文に氏名、学生番号、所属学科等を書き、英文300語程度の自己紹介文（パラグラフライティング）を書いて、toshi84123@res.otaru-uc.ac.jp まで送ること。メールでの問い合わせ等はすべて英文で行うこと。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

一次募集の結果に拘わらず、二次募集は行わない。

- 1) 3年次に英語圏での交換留学をすること。既に長期留学経験のある者は受け入れません。
- 2) 実用英検準一級、TOEFL ITP550 点以上, TOEIC850 点以上のいずれかを応募時に有すること。
- 3) 礼節を守り、約束を守り、素直で誠実な人柄であること。
- 4) 在学中に休学しないこと。
- 5) 部活やバイトで疲弊しないこと。

7. オープンゼミの日時・場所（予定）

検討中

1. 研究主題

この研究会の主題は、身の回りの問題や社会的な現象を、より**論理的で実証的に追究**することです。

すなわち「**社会科学**」(特に**社会学**)の**基礎体力**を養う講座となります。その目標に向かい、日本語で書籍や新聞記事や論文を精読したり、社会調査を実施したり、データを深く考察したりします。更には、英語文献を読んだり、英語で問題意識を持って社会調査(アンケートやインタビュー)をしたりすることにより、**教養のある「英語力」**を**体感**してもらうことも企図しています。

研究主題に即してゼミナールの教育目標が5つあります。

- i. 社会における経済、政治、歴史、文化的な課題に取り組む**社会学的な視座**を涵養します。
- ii. **社会科学的なリテラシー**(アンケートで統計を使う量的調査、そしてインタビューやフィールドワークなどの質的調査を、読む力、実行する力、そして分析する力)を身につけます。
- iii. 様々な社会事象に対して、**多角的で建設的な批判精神**を磨きます。
- iv. **問題意識を持って、英語で**会話をしたり文献を読んだりできるように努めます。
- v. 日本語で手短で的を射た質問をする力やコメントをする力、相手に伝わる資料を作成する能力など、**プレゼンテーションとディスカッションの能力**を伸ばします。

The theme of this seminar is to explore various issues surrounding our daily life through the lens of social science and, in particular, sociology. The following are the seminar objectives and goals for students:

- i. To improve “*social science literacy*” both in English and in Japanese.
- ii. To develop “*critical thinking*” skills.
- iii. To acquire insight into sociological approaches towards various socio-economic, socio-political, socio-historical, and socio-cultural issues.

2. 指導要領

☆ 講師との対話形式、並びに講師がファシリテーターとなったグループ学習で進められます。

☆ 3年時における佐々木ゼミの採用言語と演習のあり方は二つあります。

- 前期は「社会学」の文献を輪読します。日本語で教科書を精読して日本語で演習を行った後、同じ文献の英語原典を読み、演習も(できる限り)英語で行います。つまり日本語で学習して議論した社会学の内容を、英語で再び理解を組み立て直し、英語で理解を深めるよう努めます。それにより社会科学的な探究力と教養のある英語力を育みます。
- 前期から後期にかけて、社会科学のアカデミック・スキル(ノートやメモの取り方、文献の読み方)やリサーチ・スキル(社会調査の方法)を「日本語」で勉強します。
- 前期の終わり頃より実践的な社会科学的リサーチ能力をつけるべく、インタビューやアンケートを含めたプロジェクトを展開していきます。基本的に日本語を用いますが、外国人へのインタビューや冊子作製が含まれる場合は英語が使われます。なお2017-19年度には、ニセコ・倶知安町における増加する外国人定住者に関する調査を行いました。17年のテーマは健康と医療における lost in translation の問題で、その解決に向け医療マップを作成し、18年は外国人の地域ネットワークの課題に取り組み、その課題に取り組むために地域住民との文化交流イベントを開催し、2019年度は2017年の成果を引き継ぎながら、医療マップのバージョンアップとウェブコンテンツ化に取り組んでいます。

This seminar has three main components:

-
- i. Critical reading and discussion about 1) chapters from assigned reading
2) social science articles, 3) some examples from the media.
 - ii. Presentations on 1) assigned reading materials, and 2) one research project.
 - iii. Exercise and practice social science research (e.g., to what extent and in what ways do facilities and service for foreigners, provided by the city council in Niseko area, have contributed to the actual end users?)

3. 指導テキスト及び参考書

- ✧ 教科書は春休み中の会合で決定します。19 年度は①ゼミで学ぶスタディスキルズ；②Thinking Sociologically; ③社会学の考え方でした（③は②の邦訳）
- ✧ その他の教材は、基本的に担当教員が用意します。
- ✓ The textbook shall be decided on the first meeting held in spring break.
- ✓ Other reading materials shall basically be provided by the instructor.

4. 選考の方法（面接・テスト等）

- ✧ Interviews 面接 日本語 （応募者多数の場合は、簡単な文章を書いてもらいます）

5. 面接・テスト等の日時・場所

- ✧ 11月5日－15日の期間に、担当教員の研究室とゼミ室で行います。
- ✧ 日時と場所の詳細は担当教官から希望者に通知します。
- ✓ Schedule: the period between 5th November and 15th November.
- ✓ Venue: Dr. Sasaki's office and Sasaki Seminar Room
- ✓ The specific time for the interview will be determined by Dr. Sasaki.

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

交換留学生も、ゼミ登録をすることがあります。2017 年度の春学期は、フィンランド、フランス、イギリス（スイス）からの 3 名の留学生が在籍し、2017 年度秋学期と 18 年度の春学期には、中国からの留学生が在籍しておりました。

7. オープンゼミの日時・場所（予定）

佐々木ゼミ室 414 にて、10 月 7 日（英語）10 日（日本語）20 日（英語）24 日（日本語）を予定していますが、確定はしていません。 日時などの詳細は、後日に掲示・発表します。

ゼミ紹介白書

< 佐々木 ゼミ >

かおり

開講日時
火曜日 14:30 ~ 16:00 木 14:30 ~ 17:00
在籍人数(3年生) 10人 (男) (女)
男女比(3年生) 6:4
ゼミ室
414 (3号館4F)
ゼミの鬼仏表
仏 ・ 普通 ・ 鬼

Q. 先生はどんな人?



ユーモアたっぷり♡

たまにおっちょこちょい♡



話さそ友だちみたい!!

とってもフレンドリー☆☆

コーヒー大好き!

by ゼミ生 (笑)

< 2019年度年間スケジュール >

12~3	(前年度)
4	イレゼミ (笑) よろこ!
5	輪読
6	英語 & 日本語
7	(緑丘祭出店)
8	シセツお泊り!!
9	(フィールドワーク)
10	シセツのインタビュー &
11	医療マニア (作)
12	英語使える!!
1	ビジネスマナー身につく!!
2	
3	

<ゼミの日常>

社会学

フィールドワーク

の活動 3

輪読 & 雑談も交じりながら

ワイワイ楽しくやってるよ ♪

お菓子も時々たべてます!!

ゼミ生みんな仲良しだよ!!



<卒業生の進路>

NTT東日本 公務員

北海道銀行

北洋銀行

教員

などなど... ☆☆

<自由記入欄>

ゼミ室に... 冷蔵庫、電気ケトル、ソファ、パソコン、wifi、電子レンジ、

男子歓迎

エアコン、コピー機 があるよ☆☆ 留学生もいます☆☆

アロエバグなん、待ってるよ~!!



1. 研究主題

About Language Teaching and Language Learning with Task-based Language Learning (TBLT)

Language Learning Research Statistics

タスクによる外国語言語教育および言語学習・習得

外国語の言語教育研究のための統計学

2. 指導要領

In this seminar, I would like for us to study about Task-based Language Teaching (TBLT) and how to research aspects of TBLT. This includes cognitive approaches to language learning using TBLT, such as the cognitive complexity of tasks, and also the affective dimension of TBLT, such as beliefs, anxiety, motivation, and other aspects. Also, we will quantitative study methods of research used for language learning research, such as ANOVA/ANCOVA, Multiple Regression, Correlation, Factor Analysis, and etc.

タスクによる外国語言語教育および言語学習・習得についての研究および TBLT 研究方法；TBLT のタスクの認識的複雑性の研究；言語学習個人差の要因（動機付け、不安、教育概念など）

言語学習の量的研究方法（分散分析、多重回帰、相関分析、因子分析、等）

3. 指導テキスト及び参考書

Printouts/配付資料

4. 選考の方法（面接・テスト等）

I would like students in this seminar to want to become teachers.

You should have a TOEIC Score of over 650.

言語教員になりたい人を望む。TOEIC 点数は 650 点以上。（堅く守ります。）

5. 面接・テスト等の日時・場所

Thursdays @ 3rd and 4th sessions. （木曜日 3 時限および 4 時限）

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

Although we have been doing work with the Otaru Aquarium in the past, we have done so much so that we will not be doing it again this year unless asked to.

7. オープンゼミの日時・場所（予定）

Thursdays, October 3, October 10, October 17, and October 24 @ 3rd and 4th sessions. See you there!

1. 研究主題

英文学とアーツ・アンド・クラフツ運動、そして英語で紙芝居！

2. 指導要領

イギリス・アイルランドを中心に、19 世紀後半から 20 世紀初頭に書かれた文学作品に親しみましょう。そして、この時代の文芸創作に影響を与え、与えられる関係にあった同時代の美術や工芸についても知識を深めましょう。文学と芸術の相補的関係を築き上げた当時の作家や芸術家たちの思想や活動への理解を通して、彼らがどのようなメッセージを社会に発信しようとしたのか、といった問題意識のもと各自の研究をすすめていきます。そうして培った知識を実践するために、皆でクラフト工作を試みて英語で紙芝居を実演することも目標とします。

3. 指導テキスト及び参考書

教員の側でプリントなど独自に準備します。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

面接を行います。

5. 面接・テスト等の日時・場所

11 月 5 日～15 日の期間、研究室にて。時間は決まり次第告知します。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

予習・復習は怠らず頑張りましょう。

7. オープンゼミの日時・場所（予定）

今年度非開講のため、実施しない。

1. 研究主題

形式意味論、社会選択理論

Formal Semantics, Social Choice

2. 指導要領

好きなこと、興味のあることを研究するのが一番なので、学生の興味を尊重しますが、言語の意味に関すること、社会選択に関わる研究を中心とします。

You are welcome to bring your own topic of interest and develop it. The main area of study is analyzing language meaning or relevant topics to social choice and welfare.

3. 指導テキスト及び参考書

各自が読みたい文献を選択します。We will discuss what we are going to read.

D. Altshuler, Terence Parsons and Roger Schwarzschild, *A Course in Semantics*, MIT Press, 2019

W. Gaertner, *A Primer in Social Choice Theory*, Oxford University Press, 2009

4. 選考の方法（面接・テスト等）

面接

interview

5. 面接・テスト等の日時・場所

Interview will take place at Nishiguchi Lab (1-514) during the lunch breaks of the following dates:

November 5, Tue – November 15, Fri.

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

Write an email to:

nishiguchi@res.otaru-uc.ac.jp

with a subject line ``seminar''. Include the following information: your student ID, name, email address, interest, available date for interview.

7. オープンゼミの日時・場所（予定）

今年度非開講のため、実施しない。

1. 研究主題

英文学と文化批評を中心に学ぶことで、人種、ジェンダー、階級等の政治的な視座から、もろもろのテキストを文学的に分析し批評する訓練を行います。表面上の物語内容や可視的な文化事象にかぎらず、テキストの深層構造をも読み解けるようになるよう、楽しみながら一所懸命に取り組んでほしいと思います。哲学、文学、歴史学など、人文学分野に強く関心があり、とりわけ文学作品を読むのが大好きな人を歓迎いたします。

2. 指導要領

英文学の研究では、短篇の詩と小説を中心に、英語原典の講読とテキスト分析を行います。また、文化批評の研究では、和英両語で論文の講読と内容吟味を行います。初心者でも愉しく学べるテキストを厳選し、丁寧に指導しますから、かぎられた時間で最大限の成果をあげられるよう、きちんと学習してください。

3. 指導テキスト及び参考書

後日指定。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

志望理由書および面接。

5. 面接・テスト等の日時・場所

- ・ 11月4日（月）の正午までに、志望理由書1枚を電子メールで送付してください。興味関心のある分野を中心に述べてもらえたら参考になります（hamura@res.otaru-uc.ac.jp）。
- ・ 11月5日（火）と6日（水）のうちに面接を行う予定です。日時と場所は追ってメールで指示します。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

卒業論文については、英文学研究のほか、表象文化論（映画、写真、絵画、漫画、音楽、スポーツ等の文化批評）、日本文学研究（近現代のみ）、性文化論、民族文化論、歴史認識論、宗教学など、羽村に理解できる範囲であれば、学術的であるかぎり何を研究主題に選んでもかまいません。

7. オープンゼミの日時・場所

オープンゼミの予定はありません。前もって個別に相談・質問したい場合はメールをください。

1. 研究主題

社会言語学: 社会的要因（地位、性別、年齢など）がどう人々が言語を使用する方法に影響するかを研究します。

2. 指導要領

このセミは以下の人々に特に向いています：外国語の勉強が楽しい・異文化コミュニケーションに興味を持っている人・将来、英語の教師として仕事がしたい人。

What do we study? Have you ever thought about how your language changes when you talk to different people? Have you ever considered why Japanese and Korean have honorific language (敬語) but French and English do not? Have you ever wondered why men and women have different conversation styles? All of these are sociolinguistic questions. If you join our seminar you can find out the answers to these questions and many others concerning how people use language.

We investigate the **varieties** of language people use. We study how our speaking style changes according to the situation we are in, according to the people we are talking to and according to the image of ourselves we are trying to project to others (our **identity**), considering power distance (上下関係), social distance (親しみやすさ) and the setting (場面／状況).

For example: In one project we examined how characters in movies changed their speaking style according to the setting (状況) and their relationship to their interlocutor (対話者): student ⇄ student; teacher ⇄ student; teacher ⇄ teacher, etc. The reasons are sometimes **universal** across all languages, sometimes due to local **culture**, and sometimes due to **institutional setting** (機関的状況).

This seminar has three goals:

- (1) To introduce students to **sociolinguistics** (社会言語学) by exploring: (i) how the speaking situation affects the language we use (dialect, language style, directness, politeness); (ii) how these factors affect second language learning.
- (2) To develop students' research skills through collecting and analyzing written and spoken language data. Our research methods are: observing and recording natural conversations; analyzing online video and audio resources to understand about identity and language use; surveying and interviewing people on their language use.
- (3) To develop students' reading, writing and communication skills in **English**, and develop critical thinking skills. The main language of our seminar is English, so good English skills are important. However, our emphasis is on learning about language, so during class **Japanese is also used to clarify information**. The aim is to have a positive and relaxed learning atmosphere.

Class Format

3rd year: Each week before class, everyone reads about an aspect of sociolinguistics. In class, one person makes a presentation about the topic, after which we discuss it, considering examples from various languages, then write about it for homework. Also, each semester students do a group project investigating how people use language in real situations, and present their findings in the last class.

4th year: Each student carries out a research project on language in use, which they write up for their graduation paper (卒業論文).

3. 指導テキスト及び参考書

Wardhaugh, Ronald (2015) *An Introduction to Sociolinguistics* (7th edition). Wiley-Blackwell.

4. 選考の方法（面接・テスト等）

- (1) 次のテーマで、英語で **800 words** 以上のエッセイを提出して下さい。

Explain one aspect of language or language use that you are interested in studying and why.

11月4日（月）12.30時にメールでエッセイを提出してください。（markaholst@icloud.com）

- (2) 英語能力、モチベーション、および思考力を評価するインタビューがあります。

5. 面接・テスト等の日時・場所

インタビュー時間: **11月5日（火）～ 11月15日（金）** インタビュー場所: ホルストゼミ室 (314)

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

- (1) 3年生ゼミは毎週木曜日の 14.30-17.15 に行います。4年生ゼミは毎週火曜日の 14.30-16.30 に行います。
- (2) 何か詳細が必要でしたら、ホルスト先生に連絡してください。markaholst@icloud.com 研究室: 359 ゼミ室: 314

7. オープンゼミの日時・場所（予定）

ホルストゼミ室: 10月3日(木)・10月10日(木)・10月17日(木)

1. 研究主題

効果的な英語学習と英語教育について考察する

2. 指導要領

本ゼミは、英語学習や英語教育など「英語を学ぶ」または「英語を教える」ことに深い興味があり、どうしても英語をもっと楽しく継続的に学べるかを科学的な視点で真剣に考え、自らも実際に英語を学ぶ・教えることに本気でトライすることができる学生を対象としたゼミです。英語学習に関する文献を読んだり、英語で様々なタスクやプレゼンテーション、ディスカッションに取り組みます。

3. 指導テキスト及び参考書

書名：英語学習のメカニズム：第二言語習得研究にもとづく効果的な勉強法

著者：廣森友人

出版社：大修館書店

4. 選考の方法（面接・テスト等）

英語による面接を行い、英検や TOEIC その他検定試験等の点数も考慮して選考する。

5. 面接・テスト等の日時・場所

申し込み期間中に掲示にて周知する。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

英語教員を目指す学生を優先的に選抜します。「英語が苦手だから上手になりたい」という学生を対象とはしていません。また、ゼミでの学びを意味あるものにするためには、応募の段階ですでに英語学習に対する意欲が高く、自己省察を繰り返しながら継続的に英語を学びたいというマインドが必要です。

7. オープンゼミの日時・場所（予定）

今年度非開講のため、実施しない。